

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「自らの命は自らが守る」災害リスクマネジメント事業
事業主体 (連絡先)	生坂村 (0263-69-3111)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,148,860 円 (うち支援金 : 2,519,000 円)

事業内容

見直しが行われた浸水想定区域や、村内に多く存在する土砂災害警戒区域、特別警戒区域等を表示したハザードマップと、各地区の地形情報や災害記録、避難経路や避難場所を表示した地区毎の自主避難計画を合わせた防災マニュアルを作成し地域防災力を向上させた。

- ・防災懇談会の開催 (7月・10月・2月)
- ・生坂村総合防災訓練の実施 (9月1日)
- ・更新された浸水想定区域のレベル1・レベル2を両方記載したハザードマップの作成及びそれを掲載した防災マニュアルの整備と配布。(配布は4月)



【生坂村総合防災訓練】

【目標・ねらい】

- ①災害リスク情報の周知徹底
- ②住民の防災意識の高揚
- ③地域防災力の向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①更新された浸水想定区域が、防災マニュアルという形で全戸に配布されることで、今後想定される豪雨に対する浸水情報が周知できた。
- ②複数回行ってきた防災懇談会について、途中台風19号の襲来もあった関係か、回数を重ねるたびに出席人数が増えていった。
- ③台風19号襲来時に開設された避難所では、訓練とは違う災害の実態を身を感じ、各区における防災用品の整備が活発に行われるようになった。

※自己評価【 B 】

【理由】

・住民の防災意識は向上し、各区における防災対策も順調に進められている。しかしハザードマップの作成について、業者の作成環境上、取り入れられなかった意見が多くあった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年度も生坂村総合防災訓練は引き続き開催する予定であり、その際は今年度作成した防災マニュアル(ハザードマップ)を有効活用していく。

また、今回協力していただいた砂防ボランティア協会の方々とは、今後継続して交流・連携を行い、今年度行ったような懇談会・講習会を村内で開催していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある